

平成30年度学校運営計画書

学校名 大新小学校

校長名 村上 和彌

作成日 平成30年5月8日

学校教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる

心根のやさしい子

生命を尊重し、思いやりのある子ども

考えてやりぬく子

楽しみながら、主体的に学ぶ子ども

たくましく元気な子

健康で、やる気のある子ども

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	健やかな体
本年度の重点目標	教育目標の実現に向け、学校運営協議会、保護者や地域、関係機関との協力・連携を深め、特色ある教育活動を推進する。	感謝する気持ちやねばり強くがんばる気持ちを培い、生命を尊重しや他人を思いやるやさしい心を育てる。	「楽しく、わかる授業」を目指し、子どもの学びや理解を大切にした授業づくりを推進する。	健康・安全についての知識と習慣を身に付け、気力・体力の充実した子どもを育てる。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年だよりや学校ホームページ等を活用した情報発信を積極的に行い、保護者や地域の方々の理解と協力を得る。 ・大新クラブ（老人会）とのふれあいや日頃お世話になっている方々への感謝の集いを開催し、積極的に交流を進める。 ・音楽発表会を開催し、保護者や地域の方々に学習成果を見ていただくことを通して、大新教育の理解を深めていただく。 ・学校ボランティアやゲストティーチャーを積極的に迎える。（大新太鼓、読み聞かせ等） ・地域の活動に児童、教職員とともに積極的に参加しかわりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、返事などを繰り返し指導し、定着を図る。 ・道徳の時間等の充実を図り、道徳実践力を身に付けさせる。 ・人権をテーマにした授業を参観日に実施し、全校で人権意識を高める。 ・縦割り（なかよし）活動を実施し、互いを大切にする心を養う。 ・青少年赤十字活動の取組を通して、やさしい心根を育成する。 ・マラソンや縄跳びを通して、がんばる気持ちを育てる。また、協力することの大切さを体感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動を重視し、主体的・対話的な深い学びを大切にする。また、子どもの考えを生かす指導法の工夫に努める。 ・算数と道徳を窓口授業研究を行い、自分たちの考えを出し合い、高め合える子を育成する。 ・配慮を要する児童に対して、個に応じた指導のあり方を探る。 ・うちどく図書や図書コーナー、図書室の本を利用し、学校全体で積極的な読書活動を推進する。 ・「気づき・考え・行動する」という青少年赤十字活動の態度目標を、縦割り（なかよし）活動などを通して育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いとうがいを習慣化する。 ・基本的な生活習慣を身に付け、生活リズムの安定を図る。 ・保護者の理解を求めながら、子どもたちへの週1回のフック物洗口を実施する。 ・食後に歯をみがく習慣を身に付ける。 ・交通ルールを守り、安全に登下校できるようにする。 ・マラソンや縄跳びを通して、健康維持及び体力の向上を図る。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの「学校の様子をわかりやすく伝えている」の項目で「そう思う」40% ・地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「あまりそう思わない」0% ・保護者アンケートの「生命の大切さや社会のルールを守る態度の教育」で「そう思う」40% 	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査における基礎の正答率について県平均を上回る ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「あまりそう思わない」0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの「シャトルラン」の項目で県平均を上回る ・元気大作戦（生活アンケート）で運動や体を動かす遊びの達成率90%